

周 知 文 書 等 の ご 案 内

令和 8 年 4 月 9 日

○ 麻しんに関する注意喚起について

標記の件につきまして、鹿児島県保健福祉部感染症対策課より鹿児島県医師会を通じて周知依頼がありました。

本件は、3月23日～29日に鹿児島市保健所管内で陽性者（鹿児島市内20例目～24例目）が確認されたことから注意喚起を行うものです。

参考までに鹿児島市が3月24、25、27、30日に報道発表した内容の資料をお知らせいたします。

また、鹿児島県が作成した「医療機関用の麻しん疑いの患者の対応フロー図」等は、本会ホームページ「医療関係者のみなさまへ→お知らせ欄」に掲載しているとのことです。

なお、この文書は、医師会ホームページ（<http://www.izumigun-med.or.jp/>）の会員専用ページにも掲載しております。

会員専用ページのIDとパスワードは、 [ID : izumigun PW : 1818]

FAX 送信元：出水郡医師会 TEL63-0646 FAX62-6336

E-mail : info@izumigun-med.or.jp

令和8年3月31日

鹿児島県医師会会長 殿

鹿児島県保健福祉部感染症対策課長

麻しんに関する注意喚起について（通知）

本県の保健福祉行政の推進につきましては、日頃から格別の御協力をいただき厚くお礼申し上げます。

このことについて、3月23～29日、鹿児島市保健所管内において麻しん患者発生の届出が5例ありました。

麻しんは、非常に感染力が強く、予防接種を受けていない方や免疫が不十分な方にとっては、感染リスクが高い疾病です。

つきましては、別紙「麻しん（はしか）について」を参考に感染防止対策等について貴会員への周知方よろしくお願いします。

また、医療機関用に麻しん疑いの患者の対応フロー図を作成しましたので、ご活用ください。

感染症保健予防係
担当 長崎
TEL 099-286-2724

【参考】

麻疹(はしか)について

1 症状

- ・ 感染すると約 10 日後に発熱、咳、鼻汁、くしゃみ、結膜充血などの症状が現れます。2～3日熱が続いた後、39 度以上の高熱と発疹が出現します。
- ・ 肺炎や中耳炎を合併しやすく、患者の 1000 人に1人の割合で、脳炎が発症すると言われています。

2 感染経路

麻疹ウイルスの感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染で、ヒトからヒトへ感染が伝播し、その感染力は非常に強いと言われています。

免疫を持っていない人が感染するとほぼ 100%発症し、一度感染して発症すると一生免疫が持続すると言われています。

また、発症した人が周囲に感染させる期間(感染可能期間)は、症状が出現する1日前から解熱後3日間まで(全経過を通じて発症がみられなかった場合、発疹出現後5日間まで)と言われています。

3 潜伏期間

約 10 日～12 日間

4 治療

特異的な根治療法はなく、対症療法を行います。

5 予防方法

- ・ 麻疹は感染力が強く、空気感染もするので、手洗いやマスクのみでは予防できません。
- ・ 予防接種が最も有効な予防策です。麻疹風疹混合ワクチン(MR ワクチン)は予防接種法で定期予防接種の対象(第1期:1歳児、第2期:小学生就学前の1年間)とされています。対象となる方は、接種期間に適切に予防接種を受けましょう。
- ・ 急な全身性の発疹や発熱などの症状が現れたら、早めにかかりつけ医等を受診してください。
- ・ 学校等は集団発生を起こしやすい場であることから、定期接種を受けていない小学生、中学生、高校生、大学生等について接種勧奨を行ってください。
- ・ 職業上感染の拡大の影響のある、医療関係施設、保育施設、学校等においては、職員等の予防接種の必要性について検討してください。

6 麻疹の報告数

	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
鹿児島県(件)	0	0	1	0	0	0	0	0	2	25 ^{※1}
全国(件)	186	279	744	10	6	6	28	45	265	152 ^{※2}

※1 鹿児島県:R8は速報値(令和8年3月 29 日時点)

※2 全国:R8は速報値(第 11 週時点)

7 留意事項

麻疹を疑う症状があった場合は、早めにかかりつけ医等を受診してください。医療機関を受診する際は、必ず受診前に医療機関に連絡し、麻疹を疑う旨を伝えた後、医療機関の指示に従い受診してください。

また、受診の際は、周囲に感染を拡げないように公共交通機関の利用は避けてください。

麻疹疑いの患者が来院されたら（医療機関用）

1. 来院前

麻疹の発症が疑われる患者から受診希望の連絡を受けた場合は、来院時に当該患者が待機できるスペースを準備し、可能であれば来院時に別の入り口に誘導するあるいは他の患者がいない時間帯を指定して受診してもらうなど、他の患者との接触がないように配慮する。

2. 診察・問診

麻疹（臨床診断例） *臨床症状①～③をすべて満たす	*届出に必要な臨床症状 ①麻疹に特徴的な発疹 ②発熱 ③咳嗽、鼻汁、結膜充血などのカタル症状
麻疹（検査診断例） *臨床症状①～③をすべて満たすかつ**届出に必要な病原体診断のいずれかを満たす	**届出に必要な病原体診断 ①分離・同定による病原体の検出 ②検体から直接の PCR 法による病原体の遺伝子の検出 ③抗体の検出（IgM 抗体の検出、ペア血清での抗体陽転又は抗体価の有意の上昇）
修飾麻疹（検査診断例） *臨床症状①～③の 1 つ以上満たすかつ**届出に必要な病原体診断のいずれかを満たす	

上記のいずれかに該当した場合

3. 届出と検体採取

- ①発生届を管轄の保健所へ感染症サーベイランスシステムまたは FAX で提出
- ②管轄保健所へ連絡
- ③原則として麻疹と診断された患者全例にウイルス遺伝子検査を実施しています。
つきましては、下記の 3 検体の採取をお願いします。

・血液（末梢血液 2cc ）、尿（10cc）、*咽頭ぬぐい液

※ウイルス輸送用容器がない場合は、拭った綿棒を空のスπιツ（凝固剤等が何も入っていない尿用のスπιツなど）で保管
環境保健センター搬入までにすぐに搬入できない場合は、滅菌 PBS 又は滅菌生理食塩水 2cc をスπιツに入れ保管

4. 採取後の対応

①患者への説明

- ・保健所が調査を行うこと（疫学調査：臨床経過、旅行歴等行動履歴、接触者状況などの調査）
- ・検査結果については、当日または翌日以降に保健所から電話連絡があること
- ・検査結果が判明するまでは公共交通機関の利用や不用不急の外出は控えていただくこと

②患者が陽性であった際の接触者の調査協力

・患者が陽性の場合、保健所は感染拡大防止のため感染が疑われる方の健康観察及び調査を行います。当該患者、患者からの感染が疑われる方（患者が離れた後、少なくとも 1 時間（最大 2 時間）以内に空間を共有した方、対応した職員等）の調査のご協力をお願いします。

※詳しい医療機関の対応については、「医療機関での麻疹対応ガイドライン第七版」をご参照ください。



【問い合わせ先】

鹿児島県 感染症対策課 電話：099-286-2724

麻疹（はしか）患者の発生に伴う注意喚起

鹿児島市内の医療機関から麻疹（五類感染症）の発生届出があり、遺伝子検査の結果、3月23日に2例の陽性が確定しました。感染性があると考えられる期間に、不特定多数の人との接触が確認されましたので、注意喚起のため、広く情報提供します。

1 患者の情報

本年	患者情報	感染経路
20 例目	【患者概要】 10 代女性，市内在住，予防接種歴 2 回 【発症日等】 発症日：3/19（木）に発熱，鼻汁が出現 発生届：3/23（月），同日陽性確定 症状：発熱，鼻汁，発疹	調査中
21 例目	【患者概要】 40 代女性，市内在住，予防接種歴不明 【発症日等】 発症日：3/18（水）に発熱が出現 発生届：3/23（月），同日陽性確定 症状：発熱，咳，コプリック斑	調査中

2 感染性があると考えられる期間（発症前日から解熱後3日間）の不特定多数の人との接触状況

(20 例目)

日にち	施設名	詳細（滞在時間等）
3/18（水）	cafe only gne	・ 18 時～20 時 30 分頃
	市バス（3 番線 玉里団地線）	・ 20 時 34 分 天文館出発
3/19（木）	Backerei danken 吉野店	・ 11 時～11 時 20 分頃

(21 例目)

日にち	施設名	詳細（滞在時間等）
3/18（水）	タイヨー西陵店	・ 16 時～17 時頃

3 市民の皆様への注意喚起等

- ①麻疹を疑う症状（発熱，発疹，咳，鼻水，目の充血等）が現れた場合は，**必ず事前に医療機関へ連絡の上，受診してください。受診の際はマスクを着用し，公共交通機関の利用を控えてください。**
- ②麻疹の予防には，予防接種が最も有効な予防方法の1つです。
麻疹の定期予防接種（第1期：1歳児，第2期：小学校就学前の1年間）をまだ受けていない方は，かかりつけ医に相談し，早めに予防接種を受けてください。
- ③麻疹ウイルスの**空気中での生存期間は2時間以下とされ，現時点で施設等を利用しても感染の心配はありません。**
- ④**施設等への直接のお問い合わせは控えください。感染症法の趣旨に則り，個人情報保護の観点から患者やその家族・関係者等が特定されないよう，また，施設等に対する風評被害がないよう特段のご配慮をお願いいたします。**

4 麻疹について

(1) 麻疹とは

麻疹は，感染症法で五類に分類されており，麻疹ウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症として知られています。

麻疹ウイルスの感染経路は，空気感染，飛沫感染，接触感染で，ヒトからヒトへ感染が伝播し，その感染力は非常に強いと言われています。免疫を持っていない人

が感染するとほぼ 100%発症し、一度感染して発症すると一生免疫が持続すると言われています。

(2) 麻しん予防のために

- 予防接種は最も有効な予防策の 1 つです。
- 定期予防接種対象者（1 歳と小学校入学前 1 年間の幼児）は早めに予防接種を受けてください。
- 予防接種歴がわからない、麻しんにかかったかどうかわからない場合は、抗体検査やワクチン接種を検討してください。
- 妊娠している場合、ワクチンの接種を受けることはできません。流行時は外出を避け、人ごみに近づかないなど、注意が必要です。
- 外出後の手洗い、うがいや咳エチケットなどに気をつけてください。

〔麻しんの定期予防接種制度の変遷〕

1972(昭和 47)年 10 月 1 日以前生まれの男女	接種なし
1972(昭和 47)年 10 月 2 日～ 1990(平成 2)年 4 月 1 日生まれの男女	個別接種 1 回
1990(平成 2)年 4 月 2 日以降生まれの男女	個別接種 2 回

※2006(平成 18)年 4 月 1 日から麻しん風しん混合ワクチンが定期接種に導入され、同年 6 月 2 日から 2 回接種（1 歳時の第 1 期、小学校入学前 1 年間の第 2 期）が開始されています。

(3) 麻しんの発生状況（令和 8 年 3 月 2 3 日現在）

年	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
鹿児島市	0	0	0	0	0	0	0	2	21
鹿児島県(本市含む)	0	1	0	0	0	0	0	2	22
全国(鹿児島県含む)	279	744	10	6	6	28	45	265	139

（全国は 3 月 1 5 日時点）

麻しん（はしか）患者の発生に伴う注意喚起

これまでに発生があった患者の疫学調査を行った結果、集団発生と考えられる事例が確認されました。また、鹿児島市内の医療機関から麻しん（五類感染症）の発生届出があり、遺伝子検査の結果、3月24日に1例の陽性が確定し、感染性があると考えられる期間に、不特定多数の人との接触が確認されましたので、注意喚起のため、広く情報提供します。

1 集団発生について

【概要】 3月2日に開催された市内の高等学校卒業式の関係者

【感染者数】 13例（本年5、7、9～12、14～16、19～22例目）

【感染経路】 不明

2 患者の情報

本年	患者情報	感染経路
22 例目	【患者概要】 10代男性、市内在住、予防接種歴1回 【発症日等】 発症日：3/20（金）に発熱が出現 発生届：3/23（月）、24日（火）陽性確定 症状：発熱、発疹、コプリック斑	集団発生 関連

3 感染性があると考えられる期間（発症前日から解熱後3日間）の不特定多数の人との接触状況

日にち	施設名	詳細（滞在時間等）
3/19（木）	ジョイフル鹿児島中央店	・12時～13時頃
	アミュプラザ鹿児島	・13時～14時頃
	市電	・14時頃 鹿児島中央駅前出発 ⇒谷山到着
	イオンモール鹿児島店	・15時～17時頃
	ふぁみり庵はいから亭谷山店	・17時30分～19時30分

4 市民の皆様への注意喚起等

①麻しんを疑う症状（発熱、発疹、咳、鼻水、目の充血等）が現れた場合は、**必ず事前に医療機関へ連絡の上、受診してください。受診の際はマスクを着用し、公共交通機関の利用を控えてください。**

②麻しんの予防には、予防接種が最も有効な予防方法の1つです。

麻しんの定期予防接種（第1期：1歳児、第2期：小学校就学前の1年間）をまだ受けていない方は、かかりつけ医に相談し、早めに予防接種を受けてください。

③麻しんウイルスの**空気中での生存期間は2時間以下とされ、現時点で施設等を利用しても感染の心配はありません。**

④**施設等への直接のお問い合わせは控えください。感染症法の趣旨に則り、個人情報保護の観点から患者やその家族・関係者等が特定されないよう、また、施設等に対する風評被害がないよう特段のご配慮をお願いいたします。**

5 麻しんについて

（1）麻しんとは

麻しんは、感染症法で五類に分類されており、麻しんウイルスによって引き起こ

される急性の全身感染症として知られています。

麻疹ウイルスの感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染で、ヒトからヒトへ感染が伝播し、その感染力は非常に強いと言われています。免疫を持っていない人が感染するとほぼ 100%発症し、一度感染して発症すると一生免疫が持続すると言われています。

(2) 麻疹予防のために

- ・予防接種は最も有効な予防策の 1 つです。
- ・定期予防接種対象者（1 歳と小学校入学前 1 年間の幼児）は早めに予防接種を受けてください。
- ・予防接種歴がわからない、麻疹にかかったかどうかわからない場合は、抗体検査やワクチン接種を検討してください。
- ・**妊娠している場合、ワクチンの接種を受けることはできません。流行時は外出を避け、人ごみに近づかないなど、注意が必要です。**
- ・外出後の手洗い、うがいや咳エチケットなどに気をつけてください。

〔麻疹の定期予防接種制度の変遷〕

1972(昭和 47)年 10 月 1 日以前生まれの男女	接種なし
1972(昭和 47)年 10 月 2 日～ 1990(平成 2)年 4 月 1 日生まれの男女	個別接種 1 回
1990(平成 2)年 4 月 2 日以降生まれの男女	個別接種 2 回

※2006(平成 18)年 4 月 1 日から麻疹風疹混合ワクチンが定期接種に導入され、同年 6 月 2 日から 2 回接種（1 歳時の第 1 期、小学校入学前 1 年間の第 2 期）が開始されています。

(3) 麻疹の発生状況（令和 8 年 3 月 2 4 日現在）

年	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
鹿児島市	0	0	0	0	0	0	0	2	22
鹿児島県(本市含む)	0	1	0	0	0	0	0	2	23
全国(鹿児島県含む)	279	744	10	6	6	28	45	265	139

（全国は 3 月 1 5 日時点）

麻しん（はしか）患者の発生に伴う注意喚起

鹿児島市内の医療機関から麻しん（五類感染症）の発生届出があり、遺伝子検査の結果、3月26日に1例の陽性が確定しました。感染性があると考えられる期間に、不特定多数の人との接触が確認されましたので、注意喚起のため、広く情報提供します。

1 患者の情報

本年	患者情報	感染経路
23 例目	【患者概要】 40 代女性、市内在住、予防接種歴不明 【発症日等】 発症日：3/15（日）に発熱が出現（3/18 解熱） 発生届：3/25（水）、26 日（木）陽性確定 ※修飾麻しん 症状：発熱、発疹	調査中

2 感染性があると考えられる期間（発症前日から解熱後3日間）の不特定多数の人との接触状況

日にち	施設名	詳細（滞在時間等）
3/14（土）	白波スタジアム	・12 時～17 時頃
3/15（日）	イオンモール鹿児島店	・10 時～12 時頃
3/20（金）	大分県立美術館	・12 時～13 時頃
	餃子の王将コムボックス大分店	・13 時 30 分～14 時頃
	昭和ロマン蔵	・15 時～16 時頃
3/21（土）	慈母大観音	・9 時 20 分～10 時 20 分頃
	ショット久留米店	・10 時 40 分～11 時 10 分頃
	鳥栖プレミアムアウトレット	・12 時～13 時 30 分頃
	宮原サービスエリア（下り）	・16 時 30 分頃（15 分程滞在）

3 市民の皆様への注意喚起等

- ①麻しんを疑う症状（発熱、発疹、咳、鼻水、目の充血等）が現れた場合は、**必ず事前に医療機関へ連絡の上、受診してください。受診の際はマスクを着用し、公共交通機関の利用を控えてください。**
- ②麻しんの予防には、予防接種が最も有効な予防方法の1つです。
麻しんの定期予防接種（第1期：1歳児、第2期：小学校就学前の1年間）をまだ受けていない方は、かかりつけ医に相談し、早めに予防接種を受けてください。
- ③麻しんウイルスの**空気中での生存期間は2時間以下**とされ、**現時点で施設等を利用しても感染の心配はありません。**
- ④**施設等への直接のお問い合わせは控えください。感染症法の趣旨に則り、個人情報保護の観点から患者やその家族・関係者等が特定されないよう、また、施設等に対する風評被害がないよう特段のご配慮をお願いいたします。**

4 麻しんについて

（1）麻しんとは

麻しんは、感染症法で五類に分類されており、麻しんウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症として知られています。

麻しんウイルスの感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染で、ヒトからヒトへ感染が伝播し、その感染力は非常に強いと言われています。免疫を持っていない人が感染するとほぼ100%発症し、一度感染して発症すると一生免疫が持続すると言わ

れています。

(2) 麻しん予防のために

- 予防接種は最も有効な予防策の1つです。
- 定期予防接種対象者（1歳と小学校入学前1年間の幼児）は早めに予防接種を受けてください。
- 予防接種歴がわからない、麻しんにかかったかどうかわからない場合は、抗体検査やワクチン接種を検討してください。
- 妊娠している場合、ワクチンの接種を受けることはできません。流行時は外出を避け、人ごみに近づかないなど、注意が必要です。
- 外出後の手洗い、うがいや咳エチケットなどに気をつけてください。

〔麻しんの定期予防接種制度の変遷〕

1972(昭和47)年10月1日以前生まれの男女	接種なし
1972(昭和47)年10月2日～ 1990(平成2)年4月1日生まれの男女	個別接種1回
1990(平成2)年4月2日以降生まれの男女	個別接種2回

※2006(平成18)年4月1日から麻しん風しん混合ワクチンが定期接種に導入され、同年6月2日から2回接種（1歳時の第1期、小学校入学前1年間の第2期）が開始されています。

(3) 麻しんの発生状況（令和8年3月26日現在）

年	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
鹿児島市	0	0	0	0	0	0	0	2	23
鹿児島県(本市含む)	0	1	0	0	0	0	0	2	24
全国(鹿児島県含む)	279	744	10	6	6	28	45	265	152

（全国は3月22日時点）

麻しん（はしか）患者の発生に伴う注意喚起

鹿児島市内の医療機関から麻しん（五類感染症）の発生届出があり、遺伝子検査の結果、3月27日から29日までに1例の陽性が確定しました。感染性があると考えられる期間に、不特定多数の人との接触が確認されましたので、注意喚起のため、広く情報提供します。

1 患者の情報

(3/27（金）陽性確定 1例)

本年	患者情報	感染経路
24 例目	【患者概要】 40代女性、市内在住、予防接種歴不明 【発症日等】 発症日：3/25（水）に発熱が出現 発生届：3/26（木）、27日（金）陽性確定 症状：発熱	本年 10 例目

※3/28（土）、29（日）は発生なし

2 感染性があると考えられる期間（発症前日から解熱後3日間）の不特定多数の人との接触状況

(24 例目)

日にち	施設名	詳細（滞在時間等）
3/24（火）	和牛門食堂	▪ 13時30分～14時頃
	マックスバリュ東郡元店	▪ 14時30分～14時50分頃
	セカンドストリート下荒田店	▪ 15時～15時10分頃

3 市民の皆様への注意喚起等

- ①麻しんを疑う症状（発熱、発疹、咳、鼻水、目の充血等）が現れた場合は、**必ず事前に医療機関へ連絡の上、受診してください。受診の際はマスクを着用し、公共交通機関の利用を控えてください。**
- ②麻しんの予防には、予防接種が最も有効な予防方法の1つです。
麻しんの定期予防接種（第1期：1歳児、第2期：小学校就学前の1年間）をまだ受けていない方は、かかりつけ医に相談し、早めに予防接種を受けてください。
- ③麻しんウイルスの**空気中での生存期間は2時間以下**とされ、**現時点で施設等を利用しても感染の心配はありません。**
- ④**施設等への直接のお問い合わせは控えください。感染症法の趣旨に則り、個人情報保護の観点から患者やその家族・関係者等が特定されないよう、また、施設等に対する風評被害がないよう特段のご配慮をお願いいたします。**

4 麻しんについて

(1) 麻しんとは

麻しんは、感染症法で五類に分類されており、麻しんウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症として知られています。

麻しんウイルスの感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染で、ヒトからヒトへ感染が伝播し、その感染力は非常に強いと言われています。免疫を持っていない人が感染するとほぼ100%発症し、一度感染して発症すると一生免疫が持続すると言われています。

(2) 麻しん予防のために

- 予防接種は最も有効な予防策の1つです。

- 定期予防接種対象者（１歳と小学校入学前１年間の幼児）は早めに予防接種を受けてください。
- 予防接種歴がわからない、麻しんにかかったかどうかわからない場合は、抗体検査やワクチン接種を検討してください。
- 妊娠している場合、ワクチンの接種を受けることはできません。流行時は外出を避け、人ごみに近づかないなど、注意が必要です。
- 外出後の手洗い、うがいや咳エチケットなどに気をつけてください。

〔麻しんの定期予防接種制度の変遷〕

1972(昭和47)年10月1日以前生まれの男女	接種なし
1972(昭和47)年10月2日～ 1990(平成2)年4月1日生まれの男女	個別接種1回
1990(平成2)年4月2日以降生まれの男女	個別接種2回

※2006(平成18)年4月1日から麻しん風しん混合ワクチンが定期接種に導入され、同年6月2日から2回接種（1歳時の第1期、小学校入学前1年間の第2期）が開始されています。

（３）麻しんの発生状況（令和8年3月29日現在）

年	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
鹿児島市	0	0	0	0	0	0	0	2	24
鹿児島県(本市含む)	0	1	0	0	0	0	0	2	25
全国(鹿児島県含む)	279	744	10	6	6	28	45	265	152

（全国は3月22日時点）